

令和元年度 第17回

# 「家族のきずな」

## エッセイ集



文部科学省  
生理学部のマスコット  
「マナビィ」



道徳教育を推進する 公益財団法人

モロロジー研究所

共 催：麗澤大学／麗澤中学・高等学校

後 援：千葉県／千葉県教育委員会／柏市／柏市教育委員会／我孫子市教育委員会／鎌谷市教育委員会／流山市教育委員会  
野田市教育委員会／松戸市教育委員会／柏市PTA連絡協議会／株式会社ジェイコム千葉 東関東局

# 令和元年度 第17回 「家族のきずな」エッセイ集



## 目次

- 2 ごあいさつ 公益財団法人モラロジー研究所 理事長 廣池 幹堂
- 3 講評 選考委員長 柏市小中学校校長会 会長 内田 守  
最終選考委員
- 4 入賞・入選作品一覧
- 6 ご応募いただいた小学校
- 7 入賞作品
- 15 入選作品



# 「人づくり」による「国づくり」を モラロジー教育では「3つの心」を育てます。

### 「思いやりの心」

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして、自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

### 「感謝の心」

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切に尊厳性をはぐくみます。そして、恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

### 「自立の心」

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして、地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

### モラロジーとは

モラロジー (Moralogy) は、「道徳」を表すモラル (moral) と「学」を表すロジ (logy) からなる学術名で、「道徳科学」を意味します。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合的な科学「総合人間学」です。

### 公益財団法人モラロジー研究所

モラロジー研究所は、道徳教育を推進する内閣府認定の公益財団法人です。大正15(1926)年創立、道徳科学の研究および倫理道徳の研究、道徳に基づく社会教育、学校教育、生涯学習を推進する教育団体です。法学博士・廣池千九郎によって創立、研究・教育・出版事業等を展開、生涯を通じて学びを深める「生涯学習」とともに、親から子へ、子から孫へと世代を重ねて道徳性を育む「累代教育」を提唱しています。

## いあいさし

公益財団法人モラロジー研究所 理事長

廣池 幹堂

モラロジー研究所では、千葉県、千葉県教育委員会、柏市、東葛六市（柏、我孫子、鎌ヶ谷、流山、野田、松戸）の各教育委員会、ならびに柏市PTA連絡協議会、ジェイコム千葉のご後援をいただき、今年で十七回目となる「家族のきずな」エッセイ募集を行いました。本年は各小学校の五年生を対象とし、二千二百二十七編のエッセイが寄せられ、厳正な審査によって入賞（千葉県知事賞ほか）八編、入選四十二編が選ばれ、十月二十六日に表彰式を行いました。

たくさんの児童より寄せられたエッセイは、家族との心の交流、感謝の心、祖先を思う心、いのちの大切さなどが素直に表現されていて、どれ

もすばらしく感動的なものばかりです。ご応募いただいた児童、募集にご協力いただいた各学校と先生方、ならびに原稿の審査にご尽力を賜りました選考委員の皆様、各団体、協賛企業をはじめとする関係各位にも厚く御礼を申し上げます。

家庭は「教育の原点」です。家族・親・祖先とのつながりを感じる時、子供たちは喜びと生きる力を得ることができます。このエッセイ募集事業と、本冊子に掲載された心温まる作品が、少しでも「家族のきずな」を強め、家庭、学校、地域社会が一体となって子供たちの心を育てる機会の一助となれば、まことに幸いに存じます。

## 講評

選考委員長  
柏市小中学校校長会 会長

内田 守

「家族のきずなエッセイ」に今年もたくさんのご応募がありました。今から小学校五年生限定での募集でしたが、二千二百二十七編もの応募があり、凄いと感激するとともに、とても温かく嬉しい気持ちになりました。

今年も元号が「令和」となり、時代の変化を感じずにはいられません。「Society 5.0で実現する社会」などが話題になっていますが、その中においては、ますます人のつながりや結びつきが重要になってきます。その基盤が家族であることは、いかなる時代になっても変わらないことと思います。

一九七九年にノーベル平和賞を受けたマザー・テレサが、受賞のインタビューで「世界平和のために私たちはどんなことをしたらいいですか」とたずねられました。その際に答えた言葉が「家に帰って、家族を大切にしてください」であったというのは有名なお話です。この度ご応募いただいたエッセイには、家族への愛や感謝、強いきずなやつながりがあると感じました。特に、思いや絆をつなぐ「言葉」の存在の大きさに心を打たれました。選考委員一同、甲乙つけがたい作品に囲まれ選考は難航しましたが、それ以上に私たち選考委員が勇気や元気をいただきました。このような感性や実体験を持つ子供たちは、ご家族の宝であることはもちろんのこと、世界の宝であると強く実感しました。ありがとうございます。

## 最終選考委員

選考委員長	内田 守	柏市小中学校校長会 会長
副選考委員長	川原 容一	元柏市立光ヶ丘小学校 校長
選考委員	鈴木 裕太郎	柏市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事
	高橋 静	柏市教育委員会 学校教育部指導課 指導主事
	吉田 馨	(株)ジェイコム千葉 東関東局 局長
	江島 顕一	麗澤大学 経済学部准教授
	川部 翔	麗澤中学・高等学校 教諭
	野村 隆紹	モラロジー研究所 広報出版部 部長

# 入賞・入選作品一覧

令和元年度 第17回「家族のきずな」エッセイ

家族の大切さ	流山市立流山小学校 5年	伊 東 真里奈
私の忘れられない言葉	松戸市立常盤平第三小学校 5年	伊 藤 滯
命のたん生	柏市立田中小学校 5年	井 上 和 泉
努力の花	柏市立柏第三小学校 5年	今 井 ひより
大切な時間	鎌ケ谷市立西部小学校 5年	岡 袖 那
応援してくれる存在	柏市立中原小学校 5年	小 籟 美 歩
声が聞きたい	鎌ケ谷市立五本松小学校 5年	笠 川 莉 子
お父さん	柏市立酒井根東小学校 5年	川 村 千 穂
同じ言い方はしない	鎌ケ谷市立初富小学校 5年	來 山 侑志郎
お姉ちゃんになる日	柏市立田中小学校 5年	木 村 愛
私のお母さん	柏市立手賀西小学校 5年	小 坏 陽
私のお兄ちゃん	柏市立柏第二小学校 5年	櫻 井 天 空
まあい家族	鎌ケ谷市立東部小学校 5年	清 水 陽 妃
家族へ、ありがとう	柏市立酒井根小学校 5年	下土居 颯 哉
「ありがとう」ってすてきだね	柏市立酒井根小学校 5年	菅 原 夕 夏
私が生まれたこと	柏市立柏第七小学校 5年	染 谷 つばき
小さなあたたかさ	柏市立柏第七小学校 5年	高 田 真 央
私の大切な言葉	柏市立花野井小学校 5年	田 中 幸 桜
「家族で作る川の字」	鎌ケ谷市立西部小学校 5年	田 中 美 衣
とても長い三日間	柏市立酒井根西小学校 5年	田 村 詩 子
いつもと同じ。みんなと一緒に	柏市立柏第二小学校 5年	徳 田 麻衣花
大好きなひいばあば	柏市立高田小学校 5年	仲 田 麻 結
お母さんの本当の気持ち	鎌ケ谷市立西部小学校 5年	中 臺 陽 咲
家族からのげましの言葉	柏市立柏第二小学校 5年	中 村 有 希
「なんとかなるよ！」	柏市立十余二小学校 5年	仲 村 玲 音
みんなの応えん	柏市立旭小学校 5年	成 木 優 奈
家族、大好き！	柏市立柏第二小学校 5年	野 澤 美 柑
私の大好きな家族	柏市立柏第七小学校 5年	福 田 雫
大切な私の家族	流山市立流山小学校 5年	前 田 久瑠未
永遠の絆	柏市立柏第一小学校 5年	松 浦 孝 実
笑顔のまほう	柏市立酒井根小学校 5年	松 平 七 海
「ありがとう。」の言葉	柏市立柏第七小学校 5年	眞 中 津 季
心を開いて…涙がポロリ	柏市立田中北小学校 5年	宮 部 萁 花
家族の笑顔	柏市立高柳西小学校 5年	安 田 早 希
代々、受けつがれていく味	鎌ケ谷市立五本松小学校 5年	山 口 結 愛
見えないきずな	鎌ケ谷市立五本松小学校 5年	山 本 桃 子
お母さんへの「ありがとう」	柏市立光ヶ丘小学校 5年	吉 岡 和 音
家族にありがとう	柏市立手賀西小学校 5年	吉 満 優 菜

賞

千葉県知事賞

秘密ノート

鎌ケ谷市立五本松小学校 5年

ありもとまや  
有元麻弥

賞

柏市長賞

「なぐさめルール」

柏市立中原小学校 5年

やすながゆの  
安永優乃

賞

柏市教育長賞

ひいおばあちゃん

柏市立酒井根小学校 5年

いいつかかいり  
飯塚凱理

賞

柏市小中学校校長会会長賞

洋行おじいちゃんとの不思議な線

鎌ケ谷市立西部小学校 5年

あさのしょううん  
浅野彰雲

賞

柏市PTA連絡協議会賞

四月のおまじない

野田市立北部小学校 5年

おかもとさよ  
岡本紗世

賞

ジェイコム賞

妹の大切さに気付かされて

我孫子市立湖北小学校 5年

あだちかほな  
安達香帆奈

賞

麗澤大学賞

私の好きな人

松戸市立牧野原小学校 5年

たかはしなな  
高橋奈々

賞

モラロジー研究所賞

親子のつながり

流山市立流山小学校 5年

かまがた  
鎌形るうな

入 選

★掲載順=氏名50音順

自分がいる場所があってよかった	我孫子市立我孫子第二小学校 5年	阿 部 那菜穂
家族がいるうれしさ	松戸市立常盤平第一小学校 5年	石 嶋 里 安
お母さんとのきずな	野田市立北部小学校 5年	泉 澤 花 憐
家族の大切さやありがたさ	鎌ケ谷市立初富小学校 5年	板 山 七 海

千葉県知事賞

秘密ノート

鎌ヶ谷市立五本松小学校 五年 有元 麻弥

私は、お母さんと秘密ノートを作っている。私とお母さんしか見られない特別なカギ付きノートだ。

秘密ノートは、うれしかったこと、悲しかったこと、面と向かって言いにくいことを気軽に書くことができ、自分の思いが伝わると楽になる。それに、お母さんから返事をもらうこともできる。いつも返事が待ち遠しい。返事では、アドバイスや元気をもらえるから、とてもうれしくなる。特に、お母さんとけんかした時に役立つ。なぜなら、思っていることを全て書くことができ、お母さんがこういうふうに思っていたんだなあと分かるからだ。

お母さんの言葉が私の心にひびく。怒りや不安がやわらぐ。この先、どんなことがあってもこわくない。このノートが、私の心のささえとなり、解決できるからだ。

この秘密ノートは、私が六才の時から続けている。そして、私が大人になるまで続け、子どもに受けつぎたいと思う。秘密ノートは、私とお母さんを強く結びますなだ。



ご応募いただいた小学校

柏市 (27校)

柏市立 柏第一小学校  
柏第二小学校  
柏第三小学校  
柏第五小学校  
光ヶ丘小学校  
土小学校  
富勢小学校  
田中小学校  
田中北小学校  
土南部小学校  
柏第七小学校  
柏第八小学校  
酒井根小学校  
旭小学校  
藤心小学校  
中原小学校  
酒井根西小学校  
高田小学校  
名戸ヶ谷小学校  
増尾西小学校  
富勢東小学校  
酒井根東小学校  
花野井小学校  
十余二小学校  
風早北部小学校  
手賀西小学校  
高柳西小学校

鎌ヶ谷市 (6校)

鎌ヶ谷市立 東部小学校  
南部小学校  
西部小学校

道野辺小学校  
初富小学校  
五本松小学校

流山市 (6校)

流山市立 流山小学校  
八木南小学校  
江戸川台小学校  
鱒ヶ崎小学校  
新川小学校  
おおたかの森小学校

我孫子市 (2校)

我孫子市立 我孫子第二小学校  
湖北小学校

野田市 (3校)

野田市立 北部小学校  
みずき小学校  
二川小学校

松戸市 (6校)

松戸市立 常盤平第一小学校  
常盤平第三小学校  
牧野原小学校  
八ヶ崎第二小学校  
根木内小学校  
東松戸小学校

エッセイ応募総数  
2,227編  
応募小学校総数  
50校

柏市長賞

「なぐさめルール」

柏市立中原小学校 五年 安永 優乃

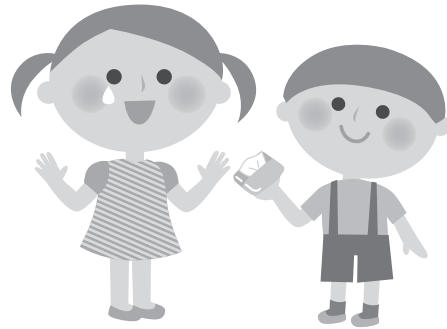
やすなが ゆの

私の家には「なぐさめルール」があります。私の家族は父・母・六才の弟・私の四人です。例えば、道でふざけたりして父が私達をしかると、母がなぐさめてくれます。私と弟がケンをしたりして母が私達をしかる時は、父がなぐさめてくれます。このように必ずだれか一人はなぐさめに行くというルールです。

私と弟が二人一緒ではなく、一人だけがしかられる日もあります。私が悲しい気持ちの時は、弟がティッシュを持ってかけつけてくれます。弟が悲しくて部屋のすみっこで丸くなっている時は私がヨシヨシしに行きます。

それでもたまに、一人のような気分になる日もあります。そんな時は、近くに住んでいる大好きな祖父に電話するとすぐケーキや私の好きな物を買ってなぐさめに来てくれます。

落ちこむことがあってもだれかが自分のことを気にかけてくれると安心します。「なぐさめルール」があるおかげで私はいつも前を向いて進んで行ける気がします。



柏市教育長賞

ひろおばあちゃん

柏市立酒井根小学校 五年 飯塚 凱理

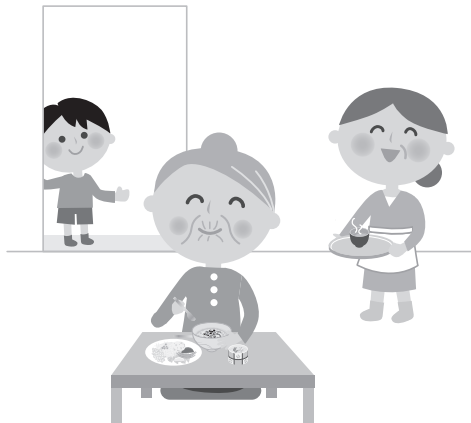
いいつか かいり

多くの家には、九十九歳のひいおばあちゃんがあります。そのお世話を、おばあちゃんが行っています。

あまり歯がないひいおばあちゃんのために、毎日おかゆを作り、おかずは小さくきざみ、魚の骨も、のどに引つかかったら大変だからと取ってあげています。時々ほくも、食べ終わったら食器を片付けてあげます。そうするといつも「ありがとう。」と言ってくれます。

トイレも一人では行けないので、おばあちゃんが連れて行きます。一日に何回も何回も行くので、毎回おばあちゃんはおこっています。おこっている声を聞くのはとてもいやだけれど、それくらい大変なんだと思います。

ほくが大きくなったら、おばあちゃんもつとおばあちゃんになります。その時はお母さんがおばあちゃんのお手伝いをするようになると思います。そうしたらほくは、お母さんのお手伝いをたくさんして、助けてあげようと思います。



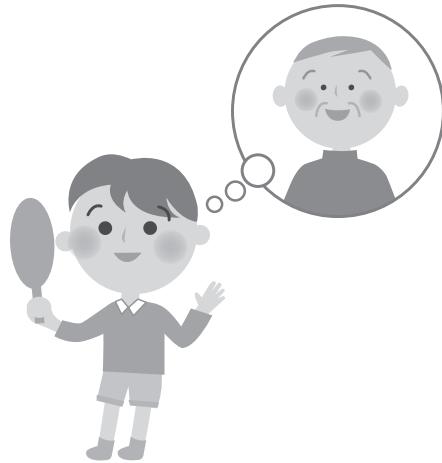
柏市PTA連絡協議会賞

「無理しなくていいんだよ。さみしい時はさみしいって言っているんだよ。」  
 と言ってくれたので、心強くなりました。  
 毎年四月になり、お母さんと登校している一年生を見ると、その時の事を思い出して、とても温かい気持ちになります。



柏市小中学校校長会会長賞

「洋行おじいちゃんに似てきたね。まゆとおでこが本当にそっくり。」  
 「本当？」  
 ぼくはそう言って、鏡を見た。ぼくは洋行おじいちゃんに似ているか分からなかったけど、少しうれしくて、うれしさかった。  
 洋行おじいちゃんは、母の父で、ぼくの祖父だ。もう二十年くらい前に亡くなっている。建築士で、若いころは一人で自動車を作ったこともあるすごいおじいちゃんだ。  
 そんな洋行おじいちゃんとぼくが似ている。そう言えば、ぼくも工作が好きだし、ホームセンターの工具売り場に行くと、うずうずしてしまふ。  
 ぼくは一度も洋行おじいちゃんに会っていないけど、不思議な縁で結ばれているような気がする。  
 洋行おじいちゃんは一人で自動車を作った。ぼくは何を作ろう。



洋行おじいちゃんとの不思議な線

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年 浅野 彰雲  
あさの しょううん

四月のおまじない

野田市立北部小学校 五年 岡本 紗世  
おかもと さよ

私が小学校に入学したばかりの時でした。  
 お母さんと一緒に、手をつないで学校に行っていました。二週間くらいたって、だんだんはずかしくなってきた、学校よりも少しはなれた所で、  
 「もうここでもいいよ。」  
 と、私はお母さんの手をはらって行ってしまいました。いつも別れぎわに、頭をなでてもらっていたけど、友達に見られるのがいやだったからです。  
 でも、だんだんさみしくなってきた、友達に話しかけてもらっても、楽しい気持ちになれませんでした。  
 夜に、お母さんに今日の事を話したら、

ジェイコム賞

妹の大切さに気付かされて

我孫子市立湖北小学校 五年 安達 香帆奈

今回、絆のことを考えていて妹の大切さに気が付きました。私には三つ下の妹がいます。生まれてからずっと仲良しで気も合います。だけど最近私は学校で嫌な事やむかつく事があると妹に意地悪をしてしまいます。そのような所で妹に甘えていることにこの作文を書くことで気付かされました。

友達にはできない意地悪を妹にしてしまいます。妹は私に意地悪をされると怒ってやり返して来たり、泣いたりします。けれど気付くと仲直りしてまた一緒に遊んでいます。自分ではずっと妹を助けていると思っていたけれど、自分が助けられているということがわかりました。妹にたくさん意地悪をしても、絆があると思つて嫌われないという安心感で甘えていた事に気付かされました。

これからは、妹にも「お姉ちゃんがいて良かったな。」と思つてもらえるような姉でいられるように妹を大切にしていきたいです。



私の好きな人

松戸市立牧野原小学校 五年 高橋 奈々

私が生まれた日、曾祖母が緊急入院しました。曾祖母は助かったけれど、お話があまり出来なくなりました。

幼稚園の頃、私が行くとニコニコして「可愛いね。」と一生懸命に言ってくれました。私は曾祖母が大好きで会えるのを楽しみにしていました。曾祖母の大好きなプリンを持っていくと嬉しそうに食べてくれました。

でも去年の夏、急に食べられなくなって、元気がなくなり、曾祖母は亡くなりました。

私は泣き顔を他人に見られるのが嫌いです。絶対に泣きません。でもお葬式の時、どうしても静かな涙が出ました。私が今まで生きてきた中で一番悲しかったです。

お葬式の後、お坊さんが話してくれました。亡くなっても曾祖母の心がそばで見守つてくれているそうです。

プリンを食べる時、曾祖母も近くで食べているかなと思うと、ちょっと嬉しくなります。ずっとそばにいてほしいな、と思います。



麗澤大学賞



モラロジー研究所賞

親子のつながり

流山市立流山小学校 五年 鎌形 るうな かまがた

私がお母さんが大好きです。お母さんは仕事をしているので毎日いそがしいです。朝も早起きで、仕事でおそく帰ってきてきてもすぐに夕食を作ってくれます。家族みんなのことや先のことをいつも考えていて、自分のことは後まわしです。学校に持っていくふくろやカバーは全部手作り、友達にも「すごいね。」と言われた時はとてもうれしかったです。

ある日はお母さんに

「いつもありがとう。お母さんはやさしくてすごいね。」

と伝えた事があります。するとお母さんは、

「ありがとう。こうやってできるのは、ママのお母さんが同じようにいろいろしてくれてからできるんだよ。だから、るうなも、お母さんになったら、家族を大切にしてくね。」

私がお母さんになった時、できるかどうかわからないけれど、家族を大切に思っていれば、自然にできることなのかなと思いました。



自分がいる場所があつてよかった

我孫子市立我孫子第二小学校 五年 阿部 那葉穂 あべ なはほ

わたしには、家族という人がいます。

みなさんにも家族がいるのが、あたり前だと思いますが、いない人もきつと思えます。いない人は思っているでしょう。

「なぜみんなには家族がいるのに、わたしにはいないの?」と。

中には、しせつにいる人、いない人、自分の場所がない人がきつといるとわたしは思います。それに、ご飯も食べられず、物も買ってもらえず、学校にもかよえない人が世界中にいるでしょう。

その中、ご飯も食べられ、物も買え、学校にもかよえるわたしたちはとても恵まれています。前まで、家族がいることはあたり前だと思っていました。やがと家族はとて大切で、大事にしなければならぬことがわかりました。

そして、自分がいられる場所があつてよかった、幸せでよかったです。だから、いっとうなつてもいいように今できること、この時間を大切にしたいと思えました。

家族がいるうれしさ

松戸市立常盤平第一小学校 五年 石嶋 里安 いしじま りあ

家族には、生まれてから今日まで、たくさんお世話になつてきました。今までたくさんめいわくをかきたり、仕事や学校で大変だとしても、うらやましくなるくらい、たくさん気をつかってくれます。私がお返しをしてあげても、小さなことのお返ししかしてあげられません。でも、それをすごくよるこんでくれます。

自分は、まだ子どもだけど、大人になったとき自分も家族みたいに、小さい子にやさしく接してあげられるようになります。おこられたりすることも、たまにはあるけど、それは、私のために言ってくれていることです。様子がおかしいときには、すぐに気がついてくれて、何があつたのか聞いてくれます。

私は、家族の所に生まれてきて、すごく良かったと思います。それに、とつてもうれしいです。それは、幸せだし、大切に育ててくれるからです。今まで育ててくれた分の大きな恩は返せないけれど、今まで育ててくれた分くらいの、家族孝行をできるようにしたいです。

## お母さんへのきずな

野田市立北部小学校 五年 泉澤 花憐いずみさわ かれん

私は、ようち園、小学校と行きたくない時期が何度かあった。別にいやなことがあったりしたわけではないけど、家で過ごしたかった。

そんな私のことをずっと見ていてくれたのが、お母さんだった。私がどんなに行きたくなくても休ませずに、車で送ってくれたり、ついてきたりしてくれた。だから私が、

「もう泣かないで行けるよ。」

と、ようち園のときに言った言葉はとてもうれしかったと思う。

小学校の一、二年生のときも行きたくなかった。でもお母さんが、と中までついてきてくれたおかげで、少しずつついてきてくれるきよりが短くなり、もう友達と二、三人で一緒に行けるようになった。

今でも行きたくないと思うことはたくさんあるけど、きちんと友達と行ける。それは全て、お母さんのおかげだと思う。お母さん、ありがとう。これからもよろしくね。

## 家族の大切さ

流山市立流山小学校 五年 伊東 真里奈いとう まりな

わたしは、母の日と父の日の時に、家族のありがたさを感じました。

母の日と父の日に花と手紙をあげることにしました。お母さんには水色の花、お父さんにはピンクの花、母と父が好きな色をえらびました。次は手紙です。何を書くのかまよって、お母さん、お父さんがいつもしてくれていることを考えました。するとかぞえきれないほどのことをやってみらっていたことが、わかったのです。

同時にぎ間もできました。もし家族がいなかったらどうなるんだろう。生きていけないのかな。でも家族がいないとさびしくて独りぼっちなんだろうな。そしてそのいつものなげない事の中に大切な事があったんだというのを手紙に書きました。

母の日はすぐくよるこんでくれました。わたしは心の中でつぶやきました。次はお父さんの番だ。これからは家族がいるという事を大切に、家族の間も大切にしたいです。

## 家族の大切さやありがとう

鎌ヶ谷市立初富小学校 五年 板山 七海いたやま ななみ

去年、母のたん生日がくる二週間前の事です。母が初めてめまいでたおれてしまいました。夜、救急で病院へ行き数時間後に帰ってきた母はそのまま二週間あんせいしているようにいしゃから言われて家の事も仕事も止められてしまいました。

その間、わたしがやろうと洗たく機を回して干して、たたみ、食器を洗い、ごはんをたいて、ごはんは母の姉が作りにつけてくれました。私は三日目ぐらいでヘトヘトでした。この二週間は夏休み中だったので学校へ行く事がなかったので家の事をして母の大変さを思い知らされました。

母が少しずつ動いていて完全に元気になってくれた時はとてうれしかったです。この事もあり、必ず一つは手伝いをしようとして学校から帰ったら洗たく物を取りこむ事をしていきます。いつも、家の事や、仕事のことをしてくれたり、学校の行事がある時はきてくれたり、ありがとう。私も、学校とお手伝いがんばるね。母のたん生日はいつも以上にかざりつけをしました。

## 私の忘れられない言葉

松戸市立常盤平第三小学校 五年 伊藤 滯いとう みに

四年生の時に、友達とケンカをして、落ちこみ帰宅すると、いつもと違う私を見て、お母さんが「どうしたの？」と話してくれました。学校であった出来事を話すと、「そうだったのね。」と、ずっと私の話を聞いてくれました。

学校に行きたくないな、友達とまたケンカをしてしまうかもしれないと、不安に思っていた私に「あなたは、あなたらしくいればいいんだよ。」「家族は、みんなあなたの味方だからね。」とお母さんに言われた言葉に心がポカポカ温かくなりました。お母さんの言葉がくもり空のような私の気持ちをまるで晴れた太陽のような気持ちにしてくれました。

今でも友達とケンカをすることもありますが、そんな時はその言葉を思い出して前を向いていこうと思うことができるようになりました。私が落ちこんだりつらい時に必ず家族がそばにいて助けてくれたので、家族がこまっていたら私もよりそえるような大人になりたいと思います。

## 命のたん生

柏市立田中小学校 五年 井上 和泉いのうえ いずみ

二〇〇九年、二月。私は生まれました。お母さん、お父さんが命を分けあたえてくれたのです。そんな二人も命を分けてもらったから生まれたのです。私にとつてのお母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん。そのさらに上もそうでしょう。しんせきだけでなく友達も先生も地いきの人もみんな同じです。だから命を分けてくれたおかげで、今、私たちは生きています。

人生は、命をけずってまでしても守りたい物が必ずあるはず。そして親になった人はみんな、その守りたい物が子どもというものになるのです。自分の親がいなくて今の自分もない。そう考えると親、いつか子どもを生むかもしれない自分の命がより大切に見えることでしょう。

私は改めて親に感じやすることがあります。そうすると自分の心が落ちついて安心するからです。みなさんも改めて考えるとよいでしょう。命が生まれるってすてきですよ。

## 大切な時間

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年 岡 柚那おか ゆな

私の家族は、みんなで集まって食事をしたり、しゃべったりすることがありません。けれど、私にとつて一つだけ大切な時間があります。それは、夜ご飯の時です。

毎朝、お母さんは、仕事でいそがしく、朝早く家を出ています。お兄ちゃんも部活でいそがしく、中学校に行ってしまう。朝ご飯は、お父さんといっしょにしか食べられません。なので毎朝家族の明るい笑顔が見れません。しかし、夜ご飯の時は、みんないっしょにそろってしゃべりながらご飯を食べます。私は毎日みんなと学校の事や習っているバスケットや習字の事をしゃべります。毎日むせるくらいお父さんがみんなを笑わせてくれます。

家族みんなが笑い、毎日夜ご飯の時は、家族みんなの笑顔が見れます。それは、私にとつても家族にとつても大切な時間です。私はそんな家族の笑顔が大好きです。

## 努力の花

柏市立柏第三小学校 五年 今井 ひよりいまい ひより

「努力はいつか花をさかせる。」  
これが私の母の名言だ。

私は走るのが大好きでどうしても駅伝選手になりたかった。だから選手になるために、雨の日も冷たい風がふく中も練習をしていた。いつも仕事帰りでつかれていたはずなのにどんな日でも練習に付きそつてくれた母がいた。

「ただ良い記録がでずに母に文句を言っていやなことを全部母にぶつけたこともあった。すると母はいつもこう言った。

「努力はいつか花をさかせるよ。」  
そう言われて母とだき合い、そしてまた練習をした。

そして選手発表の日、母も私もとてもドキドキしていたがなんと選手に選ばれたのだ。

そして家に帰り母といっしょに大喜びした。そして母はこう言った。

「ひよりは成長するのに人の二倍三倍かかるけどあきらめずに努力すれば必ず立ばな花をさかせるよ。」

## 応援してくれる存在

柏市立中原小学校 五年 小旗 美歩おばた みほ

私は小学校一年生の頃からピアノを習っています。今、習っている先生は二年生の時に紹介してもらいました。レッスンの時に毎回緊張してしまつて思いどおりに弾けない時がたくさんありました。毎年三月から八月まで『ピティナピアノコンペティション』というコンクールがあります。そのコンクールは練習がとても大変です。

ピアノに真剣に取り組めるのは先生や家族、親せきや友達などが応援してくれるのおかげだと思います。母はドレスをサイズに合わせて縫ってくれます。家族はそのコンクールに行かなくても家などで応援してくれくれます。そして結果が残せると自分の事のように喜んでくれます。良い結果が出なくても、いつも前を向いて進んでいけるのは、陰でいつも支えてくれる家族などのおかげだと思っています。

応援してくれる人に感謝をしながら、これからもピアノを続けていきたいです。



声が聞きたい

鎌ヶ谷市立五本松小学校 五年 笠川 莉子 かさがわ りこ

新学期の授業で、「もし神様に願いを叶えてもらえるなら」というテーマの作文を書きました。私は、「もう一度おじいちゃんに会いたい。」と書きました。私が大好きなおじいちゃんは、七十さいを過ぎても、会社で働き、休日にゴルフをしたり、英語の先生をしたり……。とても元気でした。お父さんの顔は、おじいちゃんにそっくりで、お兄ちゃんは、おじいちゃんに似て英語が得意です。家に遊びに行くと私の話をニコニコ笑って聞いてくれました。

でも、二年前おじいちゃんは突然亡くなってしまいました。みんな泣いて、私も大泣きました。いなくなってしまうのが信じられません。今でもそばにいるような気がします。何かあると私は、心の中でおじいちゃんに報告します。最近は運動会の応援団になった事を話しました。もし、もう一度会えたら、おじいちゃんは何て言うてくれるのか、声を聞きたいです。

同じ言い方はしない

鎌ヶ谷市立初富小学校 五年 來山 侑志郎 きたやま ゆうしろう

おばあちゃんの家に行くと、毎回ごはんを食べに行きます。ぼく達がごはんを食べ終わると、じいちゃんとおばあちゃんはまだ食べてる中です。でも、おばあちゃんは、気をつかってぼくに、

「侑くん、食べる？」  
と、聞いてくれます。ぼくは、  
「もうおなかいっぱい。」  
としました。でも、一分もしない内にまた、  
「侑くん、食べる？」  
と聞いてきます。

おばあちゃんは、認知症という病気でした。同じ事を何回も聞いてしまう病気で、人によっては聞いていていやになるかもしれません。でもぼくは何回聞かれても、毎回ちがう言い方をします。たとえ認知症でも、同じ言い方でずっと返すのは、とても可哀相な事です。なので、毎回言い方を変えてみようと思いました。そして、これからも認知症のおばあちゃんを、ささえていきたいです。

お父さん

柏市立酒井根東小学校 五年 川村 千穂 かわむら ちほ

わたしのお父さんは、五年前に亡くなってしまいました。約六年間いっしょにくらしてきて、たくさん思い出があります。

一つ目は、お父さんにたくさん料理を作ってもらいました。中でもとてもおぼえているのが、スパゲッティです。毎週のように作ってくれました。二つ目は、旅行に行ったことです。どこに行ったかというと、山梨県山中湖の近くでとまったことです。ふじ山の近くの山中湖でアヒルボートをこいだりしました。

三つ目はお父さんとたくさん公園で遊んだことです。とても小さなことですが、私にとっては大事な思い出です。いろいろな公園に行って、ロープでぶらさがったり、アスレチックで遊んだり、白鳥にエサをあげたり、たくさんのおもしろいことをしました。

そして最後にこんなに成長した私のすがたをお父さんに見せたいです。

お姉ちゃんになる日

柏市立田中小学校 五年 木村 愛 きむら あい

私は今、三人家族です。でも今、お母さんのおなかには、赤ちゃんがいます。話を聞いた時、私はビックリしました。でも今は、うれしいです。

赤ちゃんは、息をしないのにどうやって生きているんだろうと不思議に思いました。お母さんに聞いたら、お母さんと赤ちゃんは、へそのおとと言うヒモみたいなやつでつながっていて、そこから栄養をもらって大きくなっていくんだよと教えてもらいました。お母さんからたくさん栄養をもらって元気に産まれてきてほしいです。

産まれるまで、まだ時間があるから、赤ちゃんの世話の仕方を覚えて、家族が少しでも楽になるようにしたいです。とりあえず今は、お母さんのお手伝いをして、家族をささえていってあげたいです。赤ちゃんが産まれるのが楽しみです。



## 私のお母さん

柏市立手賀西小学校 五年 小<sup>こ</sup><sup>あくつ</sup><sup>つ</sup> 陽<sup>ひなた</sup>

私のお母さんは、仕事がいそがしくて、私という時間があまりありません。

私も学校があつて、朝も三十分ほどしか一緒にいません。帰ってきて「おかえり！」という声はありません。でもお母さんの仕事が終わる時は明るい声で「おかえり！」という声が聞こえます。私のたんじょう日の日も本当は仕事があつたのにいそがしい仕事を休んで、ケーキとプレゼントを買ってくれました。

母の日も私がプレゼントをわたすとよろこんで、「ありがとう。」とハグをしてくれます。

私はお母さんのハグが大好きです。

いや、私はお母さんが作った料理も、お母さんの声も、お母さんの全部が大好きです。

だから私は「この十一年間育ててくれてありがとう。」と伝えたいです。

そして私はこれからもこの先も、お母さんにかんしゃし、お母さんを大切にしていきたいです。

## まあるい家族

鎌ヶ谷市立東部小学校 五年 清<sup>しみず</sup> 陽<sup>はるひ</sup>妃

お父さんは、いそがしい。朝、私より早く仕事に行つて、帰るのは私がねた後。日曜の朝、六日ぶりに「おう、久しぶり。」という声を聞いた。私は週に三回じゅくに行くので、その日お母さんはひとり夕食を食べる。私たちは、バラバラ家族に見えるかもしれない。

家族の楽しみは、キャンプ。大きなテントを家族三人で協力してたてる。火おこしなら私とお父さんが得意。お母さんと、ご飯の用意をするのも楽しい。たき火の前で家族が一緒に過ごす、温かい時間。

ふだんの朝は、机の上にお父さんからおはようメモが置いてある。お母さんは、私とお父さんの伝言係。私はお父さんのために玄関をきれいにはいておく。それは気持ちと一緒に過ごす、温かい時間。いつもおたがいのことを想うこと。幸せって自分たちがそう思えば幸せなんだと思う。色んな形の生活があると思うけれど、これが私たち家族の幸せの形。決してバラバラではなくて、まあるく、つながっているんだ。

## 私のお兄ちゃん

柏市立柏第二小学校 五年 櫻<sup>さくらい</sup> 井<sup>い</sup> 天<sup>そら</sup>空

私は昔から妹か弟が欲しかった。だから、ある日お母さんに、

「私、下の子が欲しかった！ どうして、お兄ちゃんなの？」

と言うと、お母さんは、

「お兄ちゃんだつて大変だったのよ。自分のお金で買ったアイスもアンタに食べられるし、頑張つて作ったプラモデルもアンタにこわされるし、部活で疲れて帰って来た後も、仕事で忙しいお母さんのかわりに天空の面倒を、見てくれたのよ。あと、天空が無理矢理お兄ちゃんの自転車のカゴに乗って天空の足が金具に引っかかって取れなくなった時、お兄ちゃん『俺のせいだ。』つて言つてとまどつた時もあつたの。それから学校から帰つてすぐ、ゆりかごをのぞいて、宿題ほつておいてずっと天空の面倒を見てた事もあるわ。」

「：お母さん、ごめんなさい。」

「いいの、話せる機会になつて良かったー！」

今日、帰つたらお兄ちゃんに謝らうと思つた。

## 家族へ、ありがとう

柏市立酒井根小学校 五年 下<sup>しも</sup> 土<sup>どい</sup> 居<sup>い</sup> 颯<sup>さうや</sup>哉

「ありがとう。」

いつもこの言葉が言えない。習い事の日、お母さんがおべん当を作つてくれた。でも、やっぱり言えない。たつた五文字なのに、すぐ終わるのに、いつもそう思う。またちがう日、マラソン大会の時に、いつも来てくれるお父さんにも、やっぱり言えない。どうしたら言えるだろう。どうやったら伝えられるのだろう。そんなことを考えながら、その日をすごした。

九月五日、ぼくのたん生日の事、おばあちゃんや、ぼくのお母さんから、プレゼントをもらった。うれしかった。だけど、心の中では思つている、

「ありがとう。」

が、口から出ない。なんだか不思議な気持ちだつた。

ある日、習い事で、またお母さんにおべん当を作つてもらつた。今日こそはと思ひほくは、

「ありがとう。」

その時、「伝える事は大事だな。」そう思つた。



## 「ありがとう」ってすてきだね

柏市立酒井根小学校 五年 菅原 夕夏すがわら ゆうな

去年、私の、おじいちゃんとおばあちゃんが天国に行ってしまいました。シングルマザーだったお母さんの代わりに、おじいちゃんとおばあちゃんは、毎日、私のめんどうを見てくれました。おじいちゃんが先に入院して、しゃべれなくなる前に、私たちに、

「ありがとう。おじいちゃんの孫でいてくれて、本当にありがとう。お母さんと一緒にがんばるんだぞ。」と、言っただけで目をむりました。おばあちゃんも、入院して、しゃべれなくなる前に、

「ありがとう。おばあちゃんの孫でいてくれて、本当にありがとう。天国で、夕夏のことを見守ってるよ。」

と言っただけで息を引き取りました。みんなが泣いている時、お母さんが耳もとで、

「ありがとうってすてきだね。夕夏、これから二人でがんばろう。お母さんもがんばる。」

と、言いました。私は、この時「ありがとう」という言葉はすてきだと心から感じました。

## 小さなあたたかさ

柏市立柏第七小学校 五年 高田 真央たかだ まお

以前、私のお母さんが体調をくずして、ねこんでいたことがありました。そのため、家事などができませんでした。

私は最初は「大丈夫。」と言うことしかできず、心の中でずっと何をすればよいかを考えていました。そのとき、私はなさけない気持ちでいっぱいだったのを今でも覚えています。次の日、私は思いきってせんたくものをほしてみました。するとお母さんはこのような小さなことで「ありがとう。」と言ってくれました。そのとき、私はとても心があたたかくなりました。その気持ちをわすれずに次の日もその次の日もたくさんお手伝いをしました。そのたびにお母さんは「ありがとう。」と言ってくれました。「ありがとう。」を聞くたびに心があたたかくなるのを感じました。

今、そのできごとをふりかえってみると「ありがとう。」という言葉は家族や友だちとのきずなを深めるものだと思います。

## 私が生まれたこと

柏市立柏第七小学校 五年 染谷 つばきそめや つばき

私のお母さんは持病があります。そのため子どもが出来るかどうかとても不安だったそうです。幸せなことに私とお兄ちゃんを授かることができて、とてもうれしかったと言っています。私もお兄ちゃんも大病院で、そしていおう切開で生まれました。たくさんのお医者さん、看護士さんたちに囲まれて手じゅつをしたそうです。私が生まれた時、

「手はありますか？ 足はありますか？」

と、お母さんが聞くと、

「ちゃんとありますよ。」

と、看護士さんが答えて、私を見せに来てくれたそうです。お母さんはなみだが止まらなかったと言っていました。

この話を聞いて、私のことを心配してくれたこと、命がけて産んでくれたことを私はずれれしく思います。自分の命は自分のためにも家族のためにも大切にしなければいけないと感じました。生まれてきてよかったと思える人生にしたいです。

## 私の大切な言葉

柏市立花野井小学校 五年 田中 幸桜たなか こうさき

「つらい時はなんでも話してね。」

これは私がちよつとしたじめにあつた時にお母さんが言ってくれた言葉です。以前五日間ほど一人の子から、「あっちいけ。こつちくんな。」などひどい言葉を言われ続けました。このことをお母さんに話したのはいじめが始まってから三日ほどたってからでした。すぐ相談すればよかったのとお母さんは思ったかもしれませんが、でもそのころの自分は、いつも家族のためにいそがしく働いているお母さんに「よけいな心配をかけたくない。」と強く思っていたのです。

でも、もうがまんできなくなり、泣きながらお母さんに話しました。しかしお母さんは何も言わずにただやさしくだきしめてくれました。そして、「つらいこと悲しいことがあつたらなんでも話してね。がまんしなくていいから。」

私は、この言葉がわすれられません。

この世にこんなすてきなお母さんはほかにいない。私の大好きなお母さんです。

「家族で作る川の字」

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年 田中 美衣たなか めい

わが家では、夜に家族と布団を川の字に、ならべて寝ている。ねむりにつくまで、その日にあった出来事など好きな話をする。ときには、お母さんと一緒に弟に絵本の読みきかせをする。お父さんが会社から早く帰ってきた日は、川が一本増えて少しにぎやかになる。

話し終えると、最後は「おやすみ」と言って、ねむりにつく。私にとって家族がいてくれて良かった、大好きと感じるとても心が温かくなる大切な空間と時間だ。

あと数年で自分の部屋で一人で寝るようになるのだろうなと考えると、楽しみとさびしさが混ざった、ふくぎつな気持ちになるけれど、もうしばらくはこの川の字で、過ごす家族との時間を大切にしていこうと思う。

いつも長い三日間

柏市立酒井根西小学校 五年 田村 詩子たむら うたこ

少し前にお母さんが具合を悪くして入院してしまいました。私はすごくさびしくて、お母さんのご飯が食べたい、お母さんに会いたいと思っていました。毎日おみまいに行つて調子が良くなつていき、ほつとしました。お母さんが入院したのはたったの三日だけで、いつもはあつという間に過ぎてしまうのにお母さんがいない三日間はすごく長く感じました。

私とお父さんと弟でご飯を作り、上手に出来たのにお母さんに食べさせてあげたいなあと思いました。他にもそうじや洗たくなども三人で協力してやりました。いつもお母さんが一人でやっている事を三人でやったのにとっても大変でお母さんのすごさを感じました。こうしていつもと少しちがう日びが過ぎました。

とうとうお母さんが帰ってくる事になり、みんなで大よろこびしました。お母さんが作ったおいしいご飯を食べたらほつとして心が温かくなりました。お母さんいつまでも元気でいてね。

大好きなひいばあば

柏市立高田小学校 五年 仲田 麻結なかた まゆ

私のひいばあばは、茨城県に住んでいました。私が遊びに行くと、ひいばあばは「よく来たね。」と言つてお菓子をくれたり、ニコニコと私の話を聞いてくれたり、一緒にトランプで遊んだり、とてもかわいがつてくれました。私はひいばあばのことが大好きでした。

昨年十一月十四日ひいばあばが亡くなりました。八十七歳でした。病気が見つかつて、入院して約一ヶ月のことでした。私はひいばあばの病気の事を知らなかったのです。入院した時はとてもビックリして早く元気になればいいなと思いました。それから毎週お見舞いに行きました。私はひいばあばにお水を飲ませたり、手や足のマッサージをしたり、食事の手伝いをしました。亡くなったと聞いた時はとても悲しかったけど、私は心の中で何度も「ありがとう。大好き。」と伝えました。

ひいばあば、天国で元気にしていますか？ 私のこと、天国から見守っていてね。これからも、ずっと大好きだよ。

いつもと同じ。みんなと一緒に

柏市立柏第二小学校 五年 徳田 麻衣花とくだ まいか

この前、おばあちゃんが救急で病院へ運ばれた。検査だけで帰ることが出来て安心した。お母さんが病院に一緒に行ったので、私とお父さんでご飯を食べた。

ご飯を食べる時にお母さんがいない…何か不思議な感じがした。

お父さんは仕事で一緒に食べない時もあるけれど、お母さんとはいつも一緒だった。

でも今日はいない…。  
お父さんと一緒に食べるご飯はおいしい。やっぱり何か足りない気がする。お母さんとは、いつも一緒だから気がつかなかったが、ご飯や洗たくなどは、ちよつと大変だった。

夜になってお母さんが帰ってきた。お母さんがつくるご飯は、いつもと同じ味だったけどみんなで食べるご飯はやっぱりおいしかった。

いつもと同じ。みんなと一緒に私の感じる「家族のきずな」だ。

## お母さんの本当の気持ち

鎌ヶ谷市立西部小学校 五年 中墓 陽咲 なかだい ひさき

私は二分の一人式でお母さんの本当の気持ちを知りました。お母さんが書いた手紙には、初めての連続と書いてあり、私はその言葉の意味をわからないまま読みました。

私は、長女でお姉ちゃんだからお母さんにとって初めての出産だとは知っていました。私のお母さんはきつと私の助けなんかいらないくらいスゴイと思っていました。本当はちがいました。私が初めてのことをけいけんさせてくれるから、一歩進んでいけると書かれていました。

弟が生まれて私は姉となり、弟の世話をたくさんやってきました。大変だと思ふとき、楽しいと思ふとき、この思いはお母さんも同じ気持ちだったと思っていました。だって自分が思っている気持ちは必ず相手に伝わると信じていたから。

私はお母さんの子で良かったと思いました。今は初めての連続という言葉の意味が少しわかる気がします。これからお母さんと助け合って生きていこうと思ひました。

## 「なんとなかなるよー」

柏市立十余二小学校 五年 仲村 玲音 なかむら れいね

「なんとなかなる。」おばあちゃんは私が落ちこんだ時、いつもこう言ってくれます。おばあちゃんは、とても自信ありげに言います。でも、一度だけ不安気になってしまった時があります。それは「がん」という病氣の手じゅつをした時です。

私は学校に行っていたので、見送りとむかえには行けませんでしたが、付きそったお母さんから、無事に成功したと聞いて、とてもほっとしました。おばあちゃんには、まだその時のキズが生々しく残っています。お母さんは「おばあちゃんにめいわくをかけないで。」と言っているの、おばあちゃんに接する時はワレモノをあつかうように接しなければいけなくなってしまう、それがとてもきゅうくつでつまらないと思っています。時々、昔みたいに接したいと考えてしまいます。

私は、おばあちゃんの「なんとなかなる。」は、魔法だと思ひます。おばあちゃんが「なんとなかなる。」と言うと、本当になんとなかなるってしまうからです。おかげで私は元気です。

## 家族からのあげましの言葉

柏市立柏第二小学校 五年 中村 有希 なかむら ゆき

私は、前に学校の競走でスタートダッシュがおくれてしまい、リレーだったので私の後を走る子の足を引っぱってしまい最下位でゴール。みんなくやしがついて、「これは、私のせいだな。」と思ひ込んでいました。

帰ってからその事を、家族に話しました。みんなからは「大丈夫だよ。」「自分のせいじゃないよ。」「気にしないでいいよ。」などのはげましの言葉をもらいましたが、はげましの言葉なんて当たり前の事だと思ひていました。でも、私がねようとした時、台所で何か話をしていました。気になってきいてみると、「すごい、気にしてたね。何か元気にさせられる言葉ないかな。」という話がきこえてきて私は、「私の事、そんなに気にかけてくれてたんだ。」と思ひました。次の日、また競走があり、一位をとることができました。「これは家族の思ひのこもったはげましの言葉のおかげだ。」と思ひました。

「今回はありがとうを言えなかったけど、今度からありがとうは言おう。」

## みんなの応援

柏市立旭小学校 五年 成木 優奈 なるき ゆうな

私は、小学一年生の時からチアダンスを習っています。毎日色々な種類の練習をしてがんばっています。二〇一九年の大会で私は全国大会に出場することができました。

それは、家族のみんなが支えてくれたから出来たことだと思ひます。お母さんは、つかれているのに夜おそくの練習に付き合ってくれました。お父さんは、ダンスのビデオを見て細かいところまで教えてくれました。お姉ちゃんは、応援メッセーじが書かれた横断幕を作ってくれました。おじいちゃんとおばあちゃんは遠くの大会会場まで応援に来てくれました。

いつもは、おこられたり、めいわくをかけたりにしているけど、みんなが私のために応援してくれてうれしかったです。当たり前のことのようにだけど家族の支えがあることは幸せだと感じました。今年の大会はチアダンスの意味の応援するという気持ちを家族にとどけて笑顔に出来るようなチアダンスをしたいです。





## 家族、大好き！

柏市立柏第二小学校 五年 野澤 美柑のざわ みかん

お母さん、私を産んでくれてありがとう。私は今とっても幸せです。なぜなら家族みんなが私を幸せにしてくれたから。

私は病気なのはとてもいやだった。なぜならみんなと同じことがむずかしくなるからだ。しょうじき病気になるなら死にたいと思った。でも死ぬことは楽しいことやかなしいことがないのだ。私が「死にたい。もうつかれた。」と言ってしまった。お母さんが「大丈夫、生きてたほうがいいよ。死んだらお母さん悲しくなっちゃう。」と言われて私は死にたいと思う気持ちはなくなつたが、お母さんや家族に私は迷惑をかけたくなかった。

私は病気になって学校でつかった物や古い物がさわれなくなつた。お母さんは私がすこしでもあんしんするよう新しくまた買ってくれた。少しだけでもすぐうれしかった。気持ちがらくになってきてうれしかった。

私はだれよりもせわをしてくれたお母さんや家族みんながずっと大好きです。

## 大切な私の家族

流山市立流山小学校 五年 前田 久瑠未まえだ くるみ

私は、生まれたばかりのころ体が弱かった。夜中でも病院に連れていってもらってだんだん元気に体も丈夫になっていった。

兄弟の中でも一番小さく生まれた私。熱がでたりするとみんなに心配されてかんびようしてもらった。

ようち園になると、私はクラスの女の子の中で二番に身長が高かった。年長になると男の子と女の子全員の中で一番身長が高かった。

小学校にも元気に入学し、四年生で部活動が始まり合唱部に入った。先ばい達はとってもやさしくて、とっても楽しい。五年生に進級すると後はいが入部して来たのでペアを組む時は、私からさそう。もう五年生、もっと低学年のお手本になれるようになっていた。

私は、命をすばらしいと思う。生きていて毎日が楽しいから。家族がいることがうれしい。家族はどんな時でも私達を助けて、ささえてくれる。そんな家族に私は感しやする。いつもいつも本当に、ありがとう。

## 私の大好きな家族

柏市立柏第七小学校 五年 福田 雫ふくだ しずく

私のお母さんは、約二年半前に乳がんで亡くなりました。お母さんは私が一歳の時に乳がんとお医者さんに言われたそうです。

お母さんは、病気でも一年生の時の夏休みの工作をいっしょに作ってくれました。私が学校から帰ってきたら学校の話を聞いてくれました。私がやってきた習いごとの発表会にも来てくれました。そんな優しいお母さんとのお別れの時はすごく悲しかったです。

お葬式の時、友達や先生も来てくれました。お母さんの友達や家族は泣いている人がたくさんいました。お母さんはいろいろな人に愛されているんだなと思いました。

そして、今はお父さんとお兄ちゃんと三人でくらしています。お父さんのお姉ちゃんやおばあちゃんがいるんな場所に連れて行ってくれます。お父さんはお母さんみたいに色々なことをしてくれます。私が大人になったら、お母さんやお父さんやお世話になった人に恩返しをして感謝を伝えたいです。

## 永遠の絆

柏市立柏第一小学校 五年 松浦 孝実まつうら たかみ

私のおばあちゃんは私が四歳の時に亡くなった。亡くなった頃の事を今でも覚えている。

それはくもりの日の事だった。まっ暗な空の中、母が暗い顔をして言った。

「おばあちゃんが危篤の状態…」

最初私は意味が分からず幼稚園を早退した。駅のホームでおばあちゃんが亡くなった事を知らされた。その瞬間母の目から涙があふれた。私は死というものをまだよく分かっていなかった。でも今思うと私にとっておばあちゃんは優しく本を読んでくれた時には厳しく叱られた事もあったがとても大好きだった。

最近私はおばあちゃんの七回忌に行った。もうおばあちゃんが亡くなってから六年がたつ。あつという間だ。

今でも私はおばあちゃんの優しさを覚えている。そしてこれからもずっと見守ってくれていると信じている。ずっと絆が続いていく。今でも大好きだよ。ありがとう。



笑顔のまほう

柏市立酒井根小学校 五年 松平 まつだいら 七海 ななみ

「笑顔ってすてき。」

私は、いつもそう思う。それは、家族という時間です。私の中では、家族という時間は、とつても幸せです。悲しんでいる時やおちこんでいる時は、いつも相談にのってくれる。そんな家族の中にいるとほっとし安心します。どんな自分も受け入れてくれる心やさしい家族です。こんな家族だからこそ、私は幸せに毎日がすごせています。この前、友達とケンカした時相談にのってくれた家族。うれしくてよろこんでかえって来た時一しよによるこんでくれた家族。私は、この家族に産まれてきてよかったです。こんなにいい家族は、なかなかいないと思うぐらいの自まんの家族です。

一つ私は学んだことがあります。それは、「笑顔」です。みんなのおかげで笑顔で今まですごせてくれました。一人が笑顔でいると周りの人も笑顔になれるということ。笑顔ってすごいと改めて感じました。いろんなことを教えてくれた家族がとつても大大好きです。

心を開いて…涙がポロリ

柏市立田中北小学校 五年 宮部 みやべ 苺花 まいか

みなさんは、家族のはげましで心があたたかくなった経けんありませんか。

五年生になって、部活との両立がむずかしくなってきたある日のこと。お母さんは、私の様子をみて何か感じたのか、

「今日、何かあったの？相談に乗るよ。」

と聞いてくれました。その日、私は上級生になり、みんなのものはんにならなくてはいけないというせきにと勉強のむずかしさのあまりつかれていたのです。いつも、おこつてばかりいるお母さんが私のことを心配してくれているのだと感じ、とてもうれしくなりました。そして、お母さんに心開いて今思っていることを話しました。それを聞いたお母さんは、「そんな毎日毎日がんばって生活してたら、つかれちゃうに決まってるじゃない。少しぐらい楽にしていいのよ。」

と言ってくれました。私はよほどつかれがたまっていたのだろう。目から涙がこぼれた。

お母さんの愛を今回、よく感じられました。

「めいごとい。」の言葉

柏市立柏第七小学校 五年 眞中 まなか 津季 つぎ

私の家族は、お父さん、お母さん、私の三人家族です。

私は最近、家族に対して、「ありがとう。」を素直に言いたくても、少しはずかしくなってしまうことがあります。

いつも一緒にいることが、当たり前前家族だからなのか、学校の友達に言うように、素直に言えないもどかしさを感じてしまいました。

けれどある日、家族から言われた「ありがとう。」の言葉に心がとても温かくなって、きちんと伝える大切さを思い出すことができました。

これからも、もしかしらたら時々、「ありがとう。」が素直に言えない時があるかもしれませんが、私には、毎日感謝を伝えることが出来る家族や友達がたくさんいます。

そのことを一番大切に思いながら「ありがとう。」の言葉をきちんと伝えられる人になりたいです。

家族の笑顔

柏市立高柳西小学校 五年 安田 やすだ 早希 さき

わたしは、家族の笑顔をみるのが大好きです。

家族が笑っていると自分も自然に笑顔になります。ほかに、元気がない時もそれにパワーをもらっています。笑顔には、すごい力があると思います。

だからって、いつも家族が笑っているわけではありません。お兄ちゃんとけんかした時、自分が悪いと分かっている時、あやまるのができなかった時とかは、お兄ちゃんもわたしも、イライラした顔でちつとも笑っていません。そんな時、家族が一人でも笑っているとけんかの事もわすれ二人とも笑顔になって仲直りしています。笑顔に助けられます。反対にお母さんとか仕事でつかれているときは、わたしが元気にしてあげたいと思います。

家族みんなの笑顔が、わたしの一番のたからもの。だから、家族の笑顔が一生消えませんが！！



代々、受けつがれていく味

鎌ヶ谷市立五本松小学校 五年 山口 結愛 やまぐち ゆあ

私のおじいちゃんの、誕生日だった時の話です。昼ごはんは、「甘納豆のお赤飯」がでてきました。これは、おじいちゃんがおばあちゃんに、リクエストしたものです。私は、初めて見て、食べました。お赤飯と言えば、あずきを使ったものですが、北海道では甘納豆を使うようです。

家で食べたお赤飯は、おじいちゃんのお母さんがよく作ってくれたものようです。おじいちゃんはずっと、なつかしい味がしたんだと思います。私は、おじいちゃんのお母さん（ひいおばあちゃん）からおじいちゃんへ、おじいちゃんからお母さんへ、お母さんから私と弟へ、わが家の歴史がつながっているようです。

私も、もし自分にむすめかむすこができたなら、この、甘納豆のお赤飯を食べさせたいと思う気持ちと同時に、家族にきずなを感じられました。

お母さんへの「おひがひん」

柏市立光ヶ丘小学校 五年 吉岡 和音 よしかわ かのん

わたしは、ここまで大きくわたしをそだててくれたお父さんとお母さんに、感謝しています。

わたしは、小さいころから自分をせめてばかりで、自分のことがきらいでした。けれどお母さんは、そんなわたしを自分のことが好きにかえてくれました。

今のわたしがあるのは、お母さんのおかげです。お母さんは、わたしがうまれてからの二年間は、お父さんがいなかったの、お母さんだけでそだててくれました。どんなにかなしいことや、どんなにくるしいことがあっても、ずっとわたしのみかたでいてくれました。お母さんがくれた手紙に書いてあった、「算数がにがてでも笑顔があれば大丈夫だよ。」

その言葉を見ると、「ありがとう。」のきもちでなみだがあふれでてしまいます。だからわたしはこれからも、「ありがとう。」と「大好き。」のきもちを、お母さんという一人のそんざいに、つたえていきます。

見えないきずな

鎌ヶ谷市立五本松小学校 五年 山本 桃子 やまもと ももこ

わたしがまだようち園生だった時、お母さんが病気になるました。手じゅつが必要でした。

「お母さんが死んじゃったらどうしよう。」

わたしはすごく悲しくなっていました。けれど、「だいじょうぶだよ、ママは後百年生きてギネスブックにのるからね！」

と、お母さんは笑って言いました。

お父さんもすごく不安そうだったけど、わたしの前では、明るくしていました。

手じゅつの日、病院にわたしとお母さんとおばあちゃんの三人で行きました。お父さんは仕事で出張していたのでこられません。

「お父さんがいないけど、ママは平気？」

「心でつながっているから平気だよ。だって家族だからね。」

今考えると、これが家族のきずなだったんだなと思います。これからも、きずなを大切にして、仲良くすごしていきたいです。お父さん、お母さん、これからもよろしくね。

家族に「おひがひん」

柏市立手賀西小学校 五年 吉満 優菜 よしまつ ゆな

わたしの家は、五人家族。

おいしいごはんを作ってくれるお母さん、毎日おそくまで仕事をおんぼろしてくれるお父さん、勉強で分らないところを教えてくれるお姉ちゃん、いっしょに遊んでくれる妹。

いつも優しくってどんな時もそばにいてくれる家族が大好きです。

賞をもらった時や代表に選ばれた時、自分のことのようによろこんでくれる家族。

失敗してしまったり、つらいことがあった時に優しくつつみこんでくれる家族。

まちがったことをした時は、きちんとしかつてくれる家族。

わたしは、家族からたくさんのおもいをもらって生きているんだなと思いました。

いつもは、はづかしくて「ありがとう。」と言えないけれど、言葉にしないと伝わらないので、これからは、すなおに「ありがとう。」と、感謝の気持ちを家族に、伝えていきたいです。



# 募集要項

応募資格

東葛6市（柏・我孫子・鎌ケ谷・流山・野田・松戸）の小学校に通う5年生の児童。

応募方法

下のチラシの裏の原稿用紙に、400字以内におさまるように書いてください。  
原稿は、皆さんが通う小学校で集めます。

裏面に書いてください。



応募期間

令和元年5月1日(水)～6月30日(日)

賞

- ①入賞 8点 賞状と副賞
- ②入選 42点 賞状と副賞

発表・表彰

- ①令和元年10月26日(土)  
11:00より入賞ならびに入選作品の発表と表彰式。
- ②表彰式では入賞作品の朗読と入選者を紹介。

その他

- ①応募作品は未発表で日本語のものに限ります。
- ②入賞・入選作品に関する著作権は主催者に帰属します。
- ③入賞・入選の作品は主催者発行の『エッセイ集』、ホームページ、協賛企業でのパネル展示等にて紹介します。
- ④作品中のプライバシー、個人情報に関して主催者は一切責任を負いません。
- ⑤入賞・入選作品を公表する際の表記統一など主催者の判断で修正させていただくことがあります。

「家族のきずな」エッセイ集

令和元年10月26日発行（非売品）

発行



道徳教育を推進する 公益財団法人  
**モラロジー研究所**

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

☎04-7173-3111(代)

<https://www.morology.jp/>

主催者の許可なく転載を禁止します。 6500

# 「家族のきずな」エッセイ集



## 【協賛企業・団体】

50音順・敬称略

青木建設(株)  
(有)飯田産業  
イオンモール柏  
家の光製本梱包(株)  
(株)岩田印刷  
鶴川興業(株)  
SMBC日興証券(株)  
(株)エヌ・ワイ・ピー  
(有)オオ美  
柏市民新聞社  
(株)計画工房  
(株)コミニケ出版  
(有)サイトウプリント  
サンケイ総合印刷(株)  
(有)三雄水産  
(株)色設計  
シナノ印刷(株)  
ジャトー(株)  
すみ建具店

セブンパーク アリオ柏  
ソニック設備工業(株)  
(株)高島屋  
武田建装(株)  
(株)千葉銀行南柏支店  
(株)長正社  
(有)綱木工業  
(株)東葛毎日新聞社  
東京海上日動ファシリティーズ(株)  
流山モラロジー事務所  
(株)日東建設  
日本フィールドシステム(株)  
関東支店  
(有)沼田電業  
野村證券(株)  
本店法人営業一部  
長谷虎紡績(株)  
(株)花園サービス  
(株)花屋

ピーナッツサブレー本舗 富井  
(有)ビッグハートテラジマ  
廣池学園モラロジー事務所  
(有)廣瀬造園  
(有)北相  
(株)星広告  
(有)松正  
松戸モラロジー事務所  
(有)丸勝電気  
水代建材店  
三井不動産レジデンシャルリース(株)  
名古屋支店  
(株)三菱UFJ銀行松戸支店  
大和証券(株) 柏支店  
横山印刷(株)  
リコージャパン(株)  
リフレッシュプラザ柏